

2021年 3月 浜松聖書集会のご案内

(時間: 午前10時 ~ 正午)

- 3月 7日 (日) 集会 (クリエート浜松 52号室)
司会: 大屋 智代
聖書講話: イザヤ書 46~47章
「あなたたちの老いる日まで、私は背負う」 武井 陽一
- 3月14日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会: 大手 美千代 感話: 榎本 潤
聖書講話: ヨハネの手紙 一 4章10節
「希望の灯 竹内英子さんより学ぶ」 武井 めぐみ
- 3月28日 (日) 集会 (クリエート浜松 22号室)
司会: 水戸 潔 感話: 永井 徹
聖書講話: 詩編8編
「詩編に思う—あなたの天、指の業をわたしは仰ぎます」 溝口 春江

・・・通 信・・・

光と影

竹内 英子

十字架は暗黒の夜であり さわやかな朝の光である

十字架は厳しい審^{さば}きであり あふれる恵みである

十字架は屈辱^{いばら}の茨の冠であり 勝利の栄光である

十字架はどん底の絶望であり 輝く希望である

十字架は見捨てられた深い悲しみであり 選ばれた^{よろこび}歓喜である

私は十字架の光と影を じっと見つめる (1985年4月)

信仰によって義とされる福音の本質

溝口 正

人は皆、罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっていますが、
ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。
(ローマの信徒への手紙 3章23~24節)

何という驚くべき言葉であろうか。罪のために滅亡するしかなかった人間が、ただキリストの十字架の贖いのおかげで、神から一方的な義としていただける。しかも無償(無料 ただ)で! したがって私たち人間は、神から差し出されている救いの恵み(十字架の贖い)を信じ、受け入れるだけでよいのである。

本当にこれほど有難いことがあっていいのであろうか? この不思議な有難い神の義は、何によってもたらされたのであろうか。それは、「イエス・キリストの十字架の贖いによって」である。これが新約聖書が証しするキリストの福音である。救いの福音である。

(1998年9月「復活」第382号)